



YouTube配信中!!



住宅
防火

いのちを守る10のポイント

4つの習慣



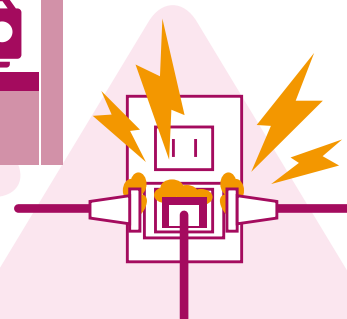
1 寝たばこは
絶対にしない、
させない



2 ストープの周りに
燃えやすいものを置かない

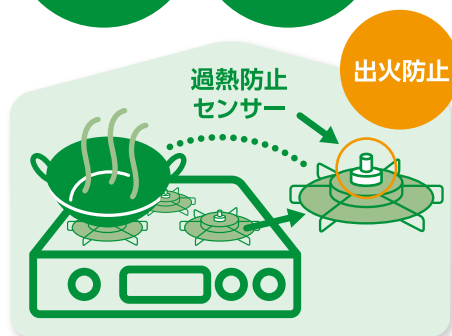


3 こんろを使うときは
火のそばを
離れない

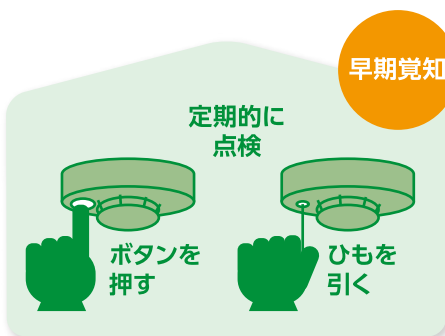


4 コンセントはほこりを清掃し、
不必要なプラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、
ストーブやこんろ等は
安全装置の付いた機器を使用する



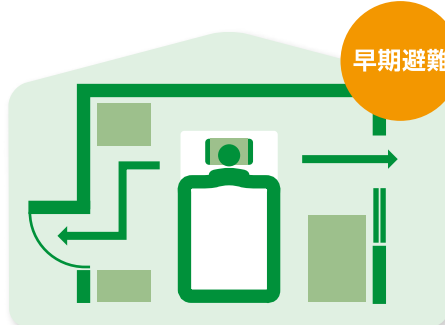
2 火災の早期発見のために、
住宅用火災警報器を定期的に点検し、
10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、
部屋を整理整頓し、
寝具、衣類及びカーテンは、
防災品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、
消火器等を設置し、
使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、
避難経路と避難方法を常に確保し、
備えておく



6 防火防災訓練への参加、
戸別訪問などにより、
地域ぐるみの防火対策を行う
イラスト(消防庁) <https://www.fdma.go.jp/>

忘れていませんか？ ご自宅の住宅用火災警報器を点検しましょう！

定期的に作動確認をしましょう



住宅用火災警報器が故障していないか、定期的に作動確認しましょう。
テストはボタンを押したり、ひもを引いて点検できます。
(方法は機種によって異なります。)

10年を目安に交換をしましょう



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や 電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。
10年を目安に交換しましょう。

連動型住宅用火災警報器をおすすめします



通常の住宅用火災警報器と違い、連動した全ての感知器が一斉に作動するので、より早く火災発生を知ることができます。交換の際には連動型住宅用火災警報器をおすすめします。
※連動型住宅用火災警報器は義務設置ではありません。